

〈令和4年度事業趣旨・概要〉

- 海外協定校や研究機関等とのパートナーシップを強化するとともに、本学の研究者らの国際交流体制を構築
- 第4期中期計画目標を踏まえ、本学の国際的なプレゼンスを高め、学術研究の多様性等の強化に繋げるため、研究者の国際交流を推進
- 本学研究者による主催又は外国の大学・研究機関等と共催するウイズコロナの取り組みとして**対面での研究者国際交流にオンライン手法も取り入れたハイブリッド方式**による国際研究集会（国際会議、国際シンポジウム及び国際セミナー等）を支援
- 「国際行動指針(令和4年1月 国際交流推進センター策定)」を踏まえ、外国の協定校等との学術交流や国際共同研究の成果発表等に対して、**学術交流の態様別に支援枠を設定し、重点的に支援**

・支援枠（1回目募集）【支援件数（1件あたりの支援上限）】

- 1) **交流協定締結済**の外国の大学や研究機関等との**学術交流**【4件（25万円）】
- 2) 外国の大学・研究機関等との**共同研究の成果発表**【2件（25万円）】
- 3) **その他**の外国の大学・研究機関等との学術交流【10件（20万円）】

- ・支援の対象期間 令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）の実施取組
- ・支援対象経費 謝金・旅費・消耗品費・会場借料費・雑役務費 等
- ・募集回数 2回募集（令和4年7月・10月頃を予定）
- ・選考方法 国際交流推進センターにおいて、書面審査のうえ、決定
- ・スケジュール 1回目募集：7月下旬申請締切、9月初旬決定（予定）
2回目募集：1回目募集の実施経過等を踏まえ決定
- ・その他 事業実施前後に学内外に広く国際研究集会の取組を広報

- 態様別に支援枠を設定
- 交流別に重点支援
- 複数回募集による支援数増加
- 広報の強化

○事業効果を高め事業の充実を図り、より研究者の国際的な交流を推進

今後の期待や検討事項

- ✓ 本事業を通じて、外国の大学等との学術交流協定の活用促進や共同研究に対する意識向上を図るとともに、研究者の学術交流をスタートアップ・充実させることで、国際共著論文発表等の国際的なプレゼンスの向上に期待
- ✓ この事業を通じた、外国の大学や研究機関等との国際学術交流および国際共同研究の実態等を把握する仕組みを検討